

1. 体制整備・環境

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	未記入	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	62.50%	37.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・1階2階フロアにおいて様々な遊びに適した環境・読書スペース・おやつ・昼食がとれる空間が確保されており、一人一人が自分の遊びを展開するために必要なスペースが確保されている。 ・日によって利用人数・児童の様子・児童のやりたい活動の内容等により、1階に集中すると狭いと感じる時がある。ただ、毎回では無い。
②	職員の配置数は適切であるか。	87.50%	12.50%			<p>基準の配置人数を満たしており、基準以上の人員配置をしているが、職員が、個別支援会議出席・研修参加・見学対応等により手が足りないと感じる事もある。</p>
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。		37.50%	62.50%		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所入り口、1階2階フロアはフラットであり、階段に手すりが設置されているが、1階トイレは段差がある。 ・2階へ行くためには階段での行き来しかないので、移動に制限のある児童には配慮できていない。

2. 業務改善

④	業務改善を進めるため職員間で課題を抽出し、解決に向けて取組み、振返りをしているか。	50%	50%			<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎月の連絡調整会議等において業務改善・振返り等を職員で情報共有し解決に向けて取組んでいる。また、「気づき」を発言できる機会も設けられている。 ・ 連絡調整会議等で、課題が随時抽出はされており、改善について話し合う場面はあるが、取組み後のフィードバックが無く、改善されたと感じられる課題に関しては、再度確認はしていない。 ・ 記録を手書きでは無く、パソコンでのデータ管理が出来る体制が整うと良い。
⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	100%				
⑥	この自己評価の結果を、事業所の開放やHP等で公開しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページにて公開。
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			100%		<ul style="list-style-type: none"> ・ 現在第三者による外部評価は実施されていない。
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	87.50%	12.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・ LD学会や行動障害・発達に関する研修など外部研修等に参加し、施設内でも研修を行っている。 ・ 職員の希望なども踏まえ個々に合った研修に参加している。

3. 適切な支援の提供

⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを適切に行い、本人ご家族の希望を踏まえてニーズ課題を客観的に分析し、現状必要な支援や本人の将来像を話し合い、課題整理表を使用し、個別支援計画書を作成している。
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・事業所として標準化されたアセスメント表を活用しており、項目ごとに保護者に確認をとっている。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇中のプログラムや体力作りでの活動内容等について職員間で相談し立案している。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	87.50%	12.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に地域の公園に行くなど、積極的に野外活動を実施している。 ・随時、職員や児童の意見を聞き取りながら工夫しており、その都度、利用児童の能力に合わせて体力作りのプログラムを立てている。 ・その日の利用児童によって柔軟に対応・計画している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題を決めて細やかに設定して支援しているか。	62.50%	25%	12.50%		<ul style="list-style-type: none"> ・課題を明確にして野外活動や調理支援、クリスマス会等様々な支援を提供している。 ・利用日のプログラム応じたそれぞれの課題設定はしていないが、一人一人の課題についての支援は個別支援計画に基づいて行っている。 ・大まかにはやっていると思うが、“細やかに設定”までは出来ていない。

⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか。	87.50%	12.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・その都度、一人一人に必要な支援を話し合いながら個々の過ごし方や課題を踏まえた上で個別活動、集団活動を組み合わせて作成している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼時、職員間で利用児童の確認・支援内容・職員配置・役割分担などを確認している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	25%	75%			<p>個々のシフト、また送迎等により全体での終礼は行っていないが、その日の支援における気づきは共有している。ただし、全員で共有はできていない為、ケース会議の時間を活用して振り返り等、情報共有している。</p> <p>記録をしている時間に気付いたこと等を話しているが、全員がその時間に参加出来ていないため、共有できていないと感じる。時間をとることが出来れば良いと思う。</p> <p>今後終礼の時間を設け、その日のうちに共有出来るようにする。</p>
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	87.50%	12.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・記録を元に計画を立案し、支援、見直し等行っている。また、個別で気になる状態にある児童については、日々の活動記録とは別に記録用紙を作成し、経過がわかるようにしている。 ・わからないこと等は職員同士確認をしながら記録をしている。 ・個別支援計画に合わせて記録するよりも、その日の子どもの姿をそのまま書く方が新しい課題が見つかって良いと考える。

⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にモニタリングを行い、毎月のケース会議において個別支援計画の検討・見直し・確認等をしている。 ・半年に一度のペースで、職員間で見直しを行い、本人・保護者とも個別支援計画の内容を確認をしている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインを基本とした活動方針を策定している。 ・日々のお手伝いや長期休暇中の活動を通して、基本活動を組み合わせ合わせて支援が出来ている。 ・保護者支援や創作活動・地域交流活動などもしている。
⑳	個別支援計画・支援について・障がいへの理解に関する研修を実施しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修等の実施や入職時に研修をしている。

4. 関係機関や保護者との連携

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	87.50%	12.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議には必ず担当者が出席。そうでない場合には最も精通している職員が出席している。 ・職員の配置により出来ていない事もあり、その場合には職員同士情報を確認し合い、会議に出席している。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	75%	25%			<ul style="list-style-type: none"> ・下校時の迎え等での申し送りや、年1回の情報交換会などに出席し、学校と情報共有が出来ている。また、必要と思われる児童については個別に会議を開き、対応を検討することもある。 ・行っている学校もあればそうでない学校もある。 ・学校の行事や下校時刻については保護者から情報をいただくことが多いため、その他にもより連携していけたらいいと思う。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。			100%		<ul style="list-style-type: none"> ・看護師がいない為、医療的ケアが出来ない・提供無し。 ・医療スタッフはいないが、現時点では医療的ケアが必要な児童は利用していない。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			100%		<ul style="list-style-type: none"> ・現在はしていないが、新入生について保育園へ訪問する予定がある。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	62.50%	37.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・担当する相談支援事業所によって情報を提供する場がある場合と無い場合がある。 ・学校の方針に合わせ、提供している。

②6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	37.50%	25%	37.50%		<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関が企画している研修を受けている。 ・専門機関があることは周知しているが、現段階では特に連携はしない。
②7	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか。	50%	50%			<ul style="list-style-type: none"> ・地域向けのイベントを年1回開催しており、地域児童と交流させて頂く機会を設けている。
②8	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		100%			<ul style="list-style-type: none"> ・長岡市障がい者自立支援協議会の構成に部会がない為、参加出来ない。 ・市が行う、放課後等デイサービス事業に関する情報交換会等には参加している。
②9	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時など活用して、日頃の状況などを伝え合い、児童の変化についての情報を共有している。 ・保護者には、日々の活動の様子を口頭・連絡帳にて伝えている。 ・送迎時や必要に応じて面談の場を設定し、話し合っている。
③0	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。			100%		<ul style="list-style-type: none"> ・体制が整っていないため、ペアレントトレーニングはしていない。 ・「親カフェ」という法人レベルでの企画があり、保護者同士が語り合う機会を作っている。

5. 保護者への説明責任等

③①	運営規程、支援の内容、利用者負担額などについて丁寧な説明を行っているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・契約時、重要事項説明書を元に説明している。 ・以前は料金表を提示していたが、平成30年度からの報酬改定後は口頭で案内している。
③②	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	87.50%	12.50%			<ul style="list-style-type: none"> ・個々に必要があれば送迎時や個別に時間を設けて対応している。 ・支援を行うことができている職員もいるが、個人的には対応しきれていないと感じる。子育て等については経験が乏しく助言等を行うことが難しいことが多いため、相談を受けた際の職員間の連携の仕組みを作ることの検討が必要と感じる。
③③	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の連携を深めるため、法人全体の企画として親カフェや会員活動を定期的で開催している。
③④	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・苦情窓口を提示し、迅速に対応出来るよう整備されている。 ・担当者を中心に調査や対応が出来ており、会議を開いたり、話し合ったりしている。
③⑤	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	50%	50%			<ul style="list-style-type: none"> ・SNSなど活用して発信している。 ・定期的に会報を発行しているが、平成30年度については未発行。

③⑥	個人情報に十分注意しているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報使用同意書を得ている。 ・事務所内に氏名が判別できる形でファイルを鍵がついた書棚で保管している。 ・誓約書に基づいて注意している。
③⑦	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には書面での提示や伝え方を工夫している。
③⑧	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・イベントを開催し地域住民の招待に繋がる事業運営を図っている。

6. 非常時等の対応

③9	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル策定し、職員や保護者に周知しているか。		88%	12.50%		<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対応マニュアルはフロアに提示されているが、防犯マニュアルは今後作成予定である。 ・保護者にはマニュアルの提示はしていない。 ・職員への周知はしているが、行き届いていない点もある。
④0	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	50%	50%			<ul style="list-style-type: none"> ・夏に避難訓練や防災学習をしているが、非常災害などに備え、定期的な訓練が必要。 ・今年度は利用児童の状況等を踏まえ回数が十分に出来ていないため、来年度について再度訓練内容や回数の検討をする。
④1	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%				<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修を行っている。
④2	どのような場合にやむを得ず身体的拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・現在、継続的に身体拘束が必要とされる対象児童はいない。必要な場合には会議を持って検討し、保護者への説明をする。 ・アセスメント等で本人の様子から他害等の可能性がある場合には、事前に説明している。またやむを得ず腕を押さえる等を行う場合には保護者へ状況・対応した内容を説明している。
④3	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		50%	50%		<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表の項目に沿って記入して対応しているが、医師の指示書が出されている児童はおらず、保護者に確認をしている。 ・常に全員がわかるよう（誰が何のアレルギーか）、提示などをした方がよい。
④4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。			100%		<ul style="list-style-type: none"> ・今後、作成して共有が必要。